

証券コード:6469



独創技術でニーズにお応えする

2017年2月期 第2四半期決算説明資料

2016年 10月21日

株式会社 **放電精密** 加工研究所

■ 2017年2月期第2四半期決算概要

- 本日のポイント ……P 3
- 2017年2月期第2四半期決算概要 ……P 4
- 2017年2月期第2四半期損益計算書 ……P 5
- 2017年2月期第2四半期利益の変動要因 ……P 6
- 2017年2月期第2四半期セグメント別概要 ……P 7
 - ・セグメント別詳細:放電加工・表面処理 ……P 8
 - ・セグメント別詳細:金型 ……P 9
 - ・セグメント別詳細:機械装置等 ……P10
- 連結貸借対照表とCFの状況 ……P11
- 2017年2月期第2四半期/設備投資・償却費・研究開発費 ……P12

■ 2017年2月期通期見通し

- 2017年2月期通期見通し ……P14
- 2017年2月期通期見通し(セグメント) ……P15
 - ・セグメント別詳細:放電加工・表面処理 ……P16
 - ・セグメント別詳細:金型 ……P17
 - ・セグメント別詳細:機械装置等 ……P18

■ 中期経営計画進捗 ……P19～25

別紙：2017年2月期第2四半期決算補足資料

本日のポイント

2017年2月期第2四半期決算ポイント

■ 前期比増収・増益

- ◇ 金型が順調に推移
- ◇ 航空機エンジン部品事業の損失減少

■ 計画比減収・増益

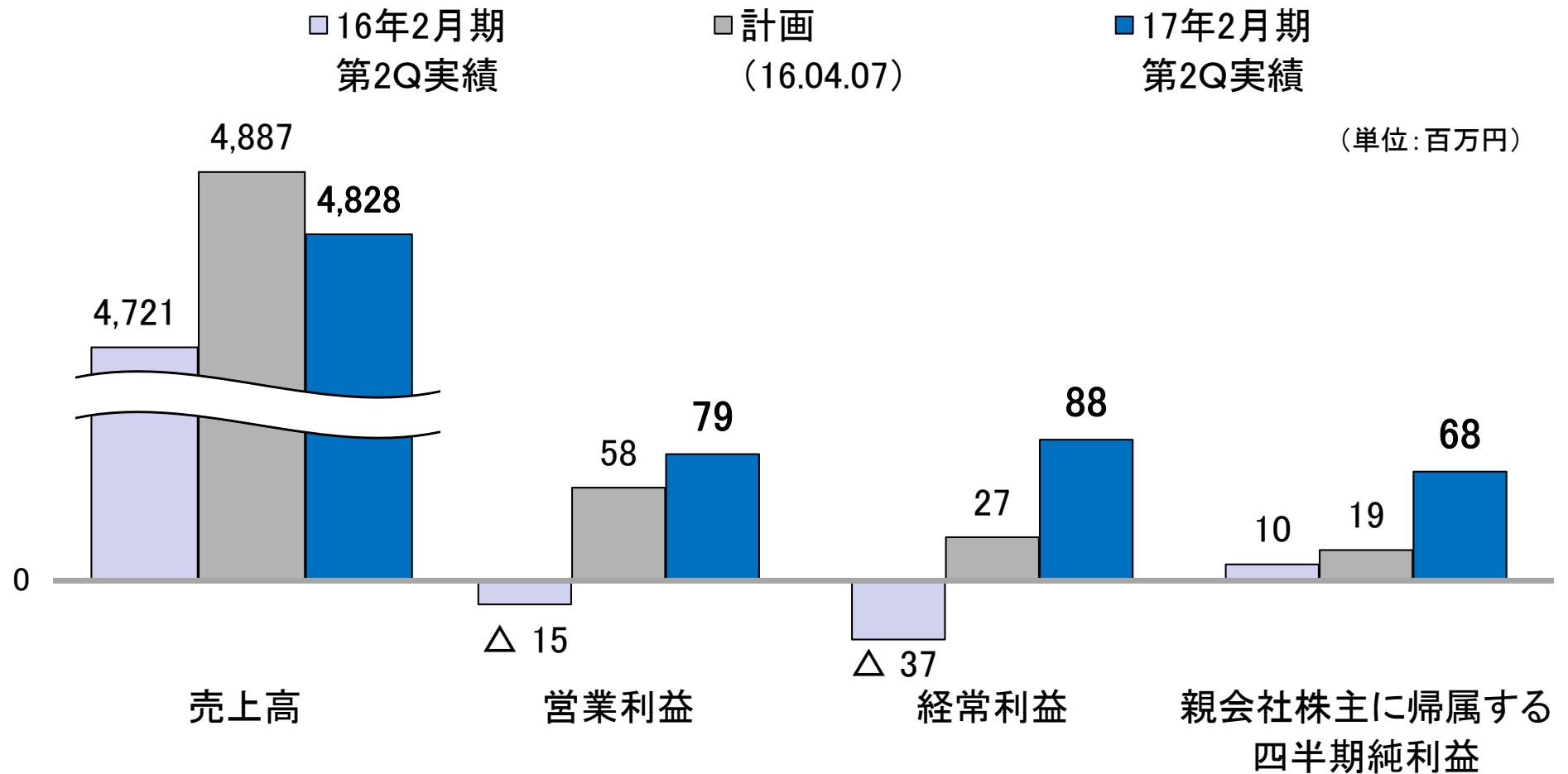
- ◇ 金型が増収もその他のセグメント減収 全体では減収
- ◇ 生産性の向上や経費削減活動により営業利益で増益
- ◇ 持分法適用会社の投資利益が増加し、経常利益で増益

■ 航空機エンジン部品事業

- ◇ 低圧タービンブレードは、2015年8月より生産開始。堅調に推移
- ◇ 新規アイテムである圧縮機・燃焼器部品は順次認証取得中
一部段階的に生産開始。2017年より本格生産開始

2017年2月期第2四半期決算概要

前期比・計画比による決算概要



前年比	106	94	125	58
計画比	△59	21	60	48

2017年2月期第2四半期損益計算書



前期比・計画比による損益状況明細

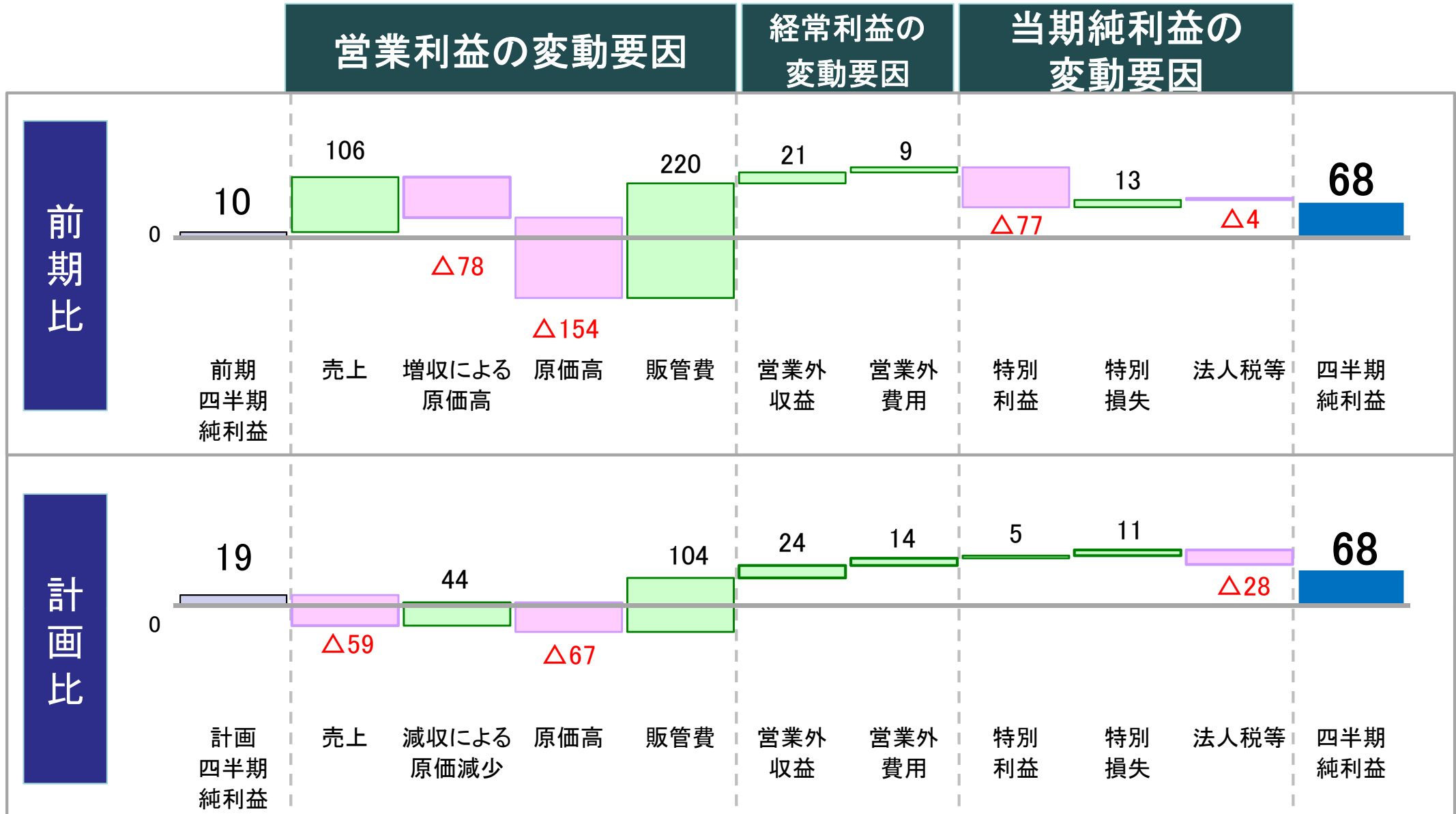
(単位:百万円)

	16年2月期 第2Q実績	計画 (16.04.07)	17年2月期 第2Q実績	前期比		計画比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	4,721	4,887	4,828	106	2.3%	△ 59	△1.2%
売上原価	3,460	3,668	3,692	232	6.7%	23	0.6%
売上総利益	1,261	1,218	1,135	△ 125	△10.0%	△ 82	△6.8%
販管費	1,276	1,160	1,055	△ 220	△17.3%	△ 104	△9.0%
営業利益	△ 15	58	79	94	-	21	36.5%
営業外収益	15	12	36	21	137.2%	24	203.0%
営業外費用	37	42	27	△ 9	△26.4%	△ 14	△34.8%
経常利益	△ 37	27	88	125	-	60	217.6%
特別利益	102	20	25	△ 77	△75.3%	5	26.7%
特別損失	14	11	0	△ 13	△97.4%	△ 11	△96.9%
税金等調整前純利益	50	35	113	62	122.9%	77	216.0%
税金費用	40	16	44	4	10.3%	28	178.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10	19	68	58	565.6%	48	246.1%

2017年2月期第2四半期利益の変動要因



前期比・計画比による利益の変動要因



2017年2月期第2四半期セグメント別概要



各セグメントにおける売上高・営業利益

(単位:百万円)

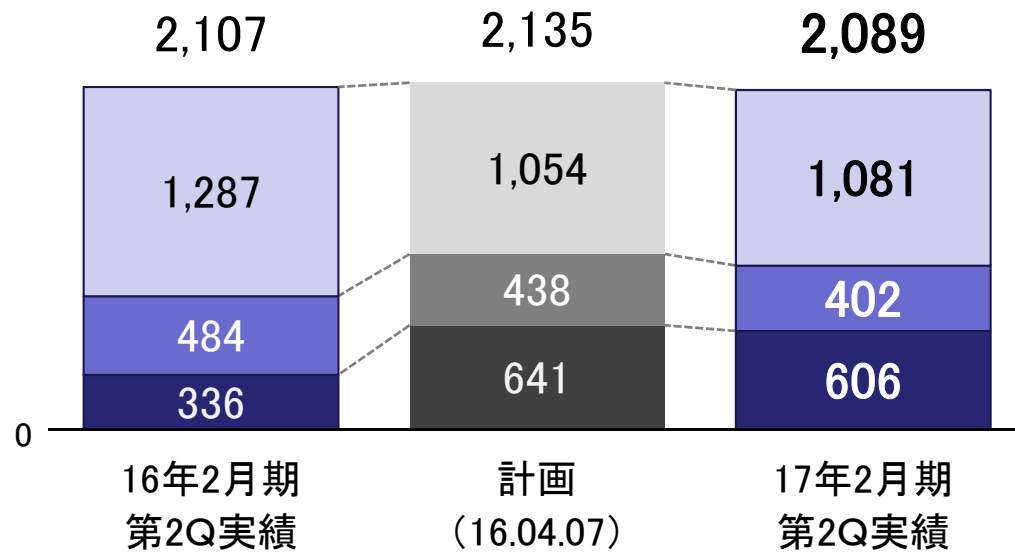
	売上高			営業利益		
	16年2月期 第2Q実績	計画 (16.04.07)	17年2月期 第2Q実績	16年2月期 第2Q実績	計画 (16.04.07)	17年2月期 第2Q実績
放電加工 表面処理	2,107	2,135	2,089	105	18	△ 19
金 型	1,616	1,654	1,764	317	440	499
機械装置等	997	1,097	974	177	187	129
全社費用				△ 615	△ 588	△ 530
合 計	4,721	4,887	4,828	△ 15	58	79

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

放電加工・表面処理における概要

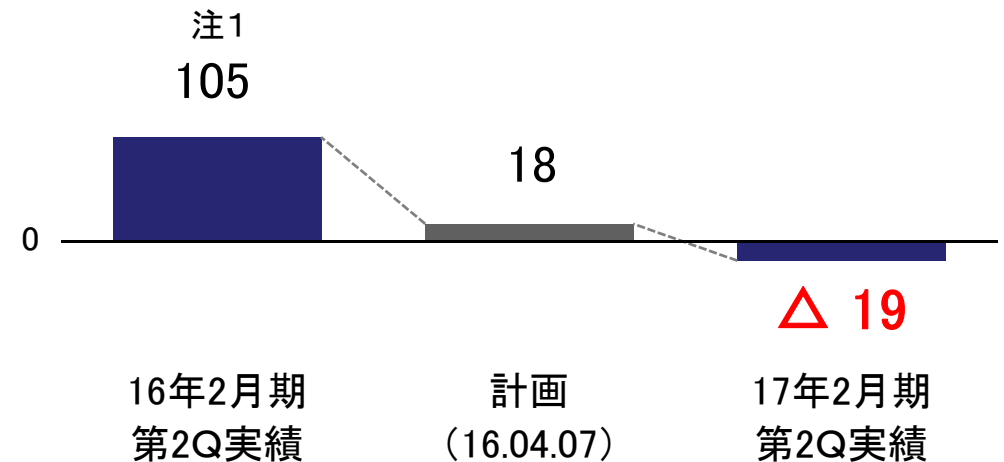
売上高

■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー



営業利益

(単位:百万円)



市場動向	<p>航空・宇宙： 新型旅客機向けに市場は活発</p> <p>交通・輸送： 自動車関連は地震・円高の影響もありながらも堅調</p> <p>環境・エネルギー： プラント関連は引き続き低調</p>
業績要旨	<p>◇セグメント全体では、前期比・計画比ともに減収・減益。</p> <p>注1：航空機エンジン部品事業における低圧タービンブレード生産開始までの立上費用は、前期8月まで全社費用で計上。今期は、当セグメントには含めておりません。</p>

セグメント別詳細：金型

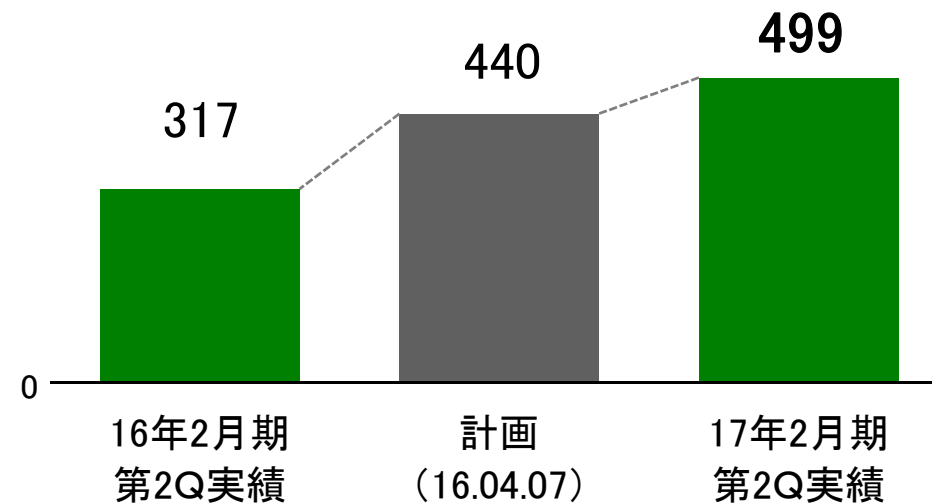
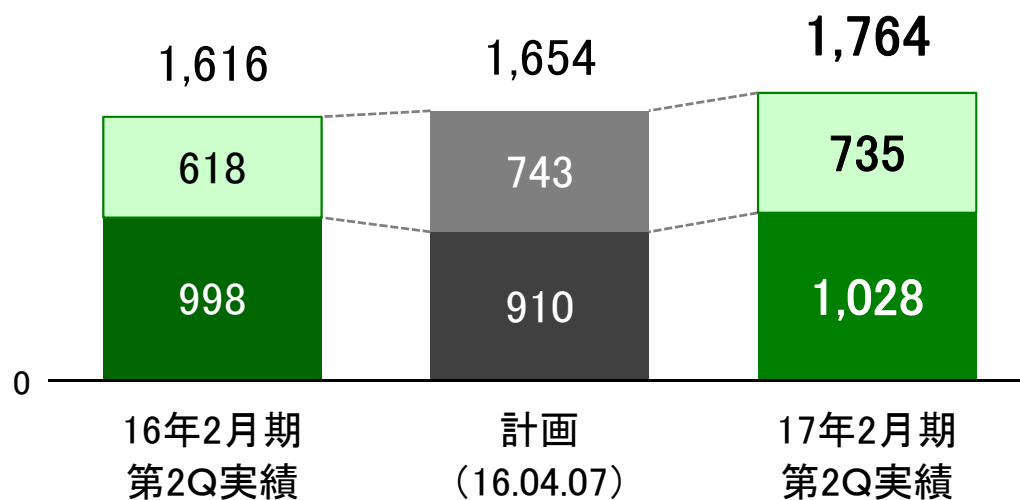
金型における概要

売上高

営業利益

■住宅 ■交通・輸送

(単位：百万円)



市場動向	<p>住宅：住宅着工件数は回復の兆し</p> <p>交通・輸送：世界各国での排ガス規制の強化により、排ガス浄化用装置の需要は好調</p>
業績要旨	<p>◇住宅向けアルミ押出用金型は想定より増収。</p> <p>◇セラミックスハニカム押出用金型は順調に推移</p> <p>◇増収に伴い、増益</p>

セグメント別詳細：機械装置等

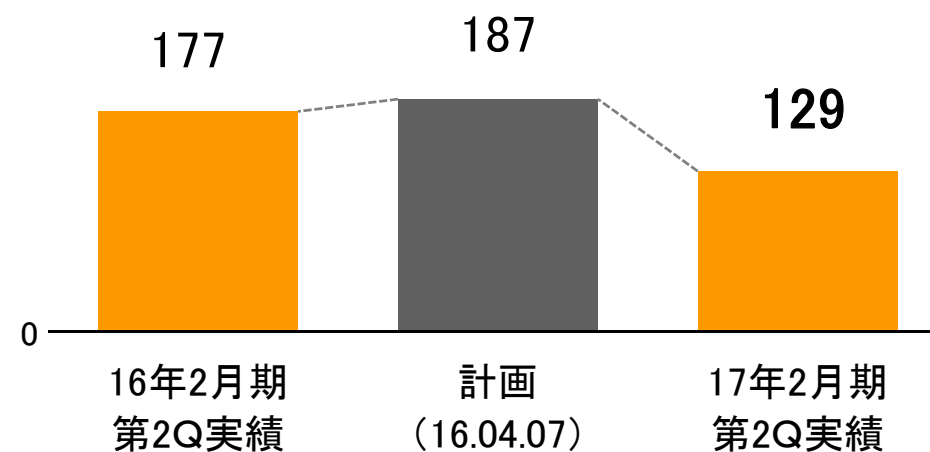
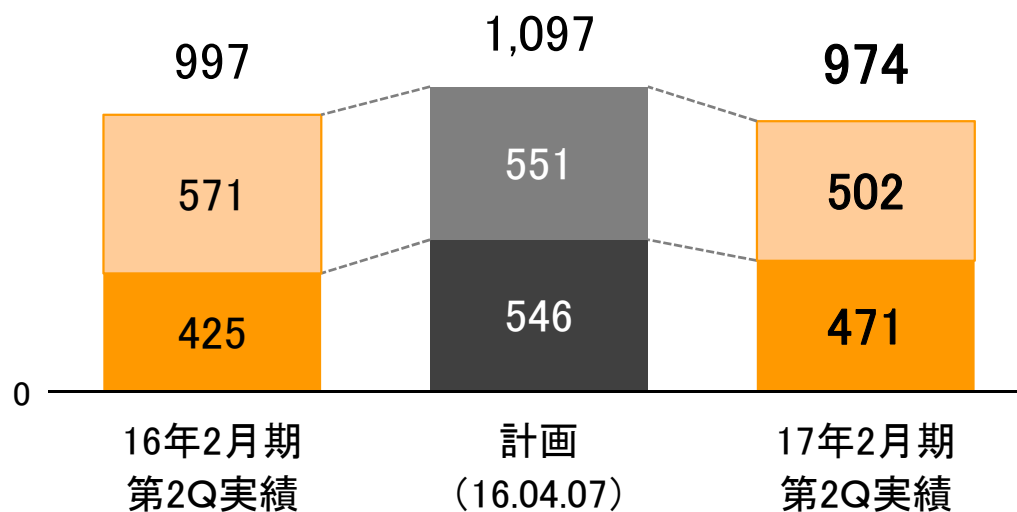
機械装置等における概要

売上高

営業利益

■ 機械設備 ■ 交通・輸送

(単位:百万円)



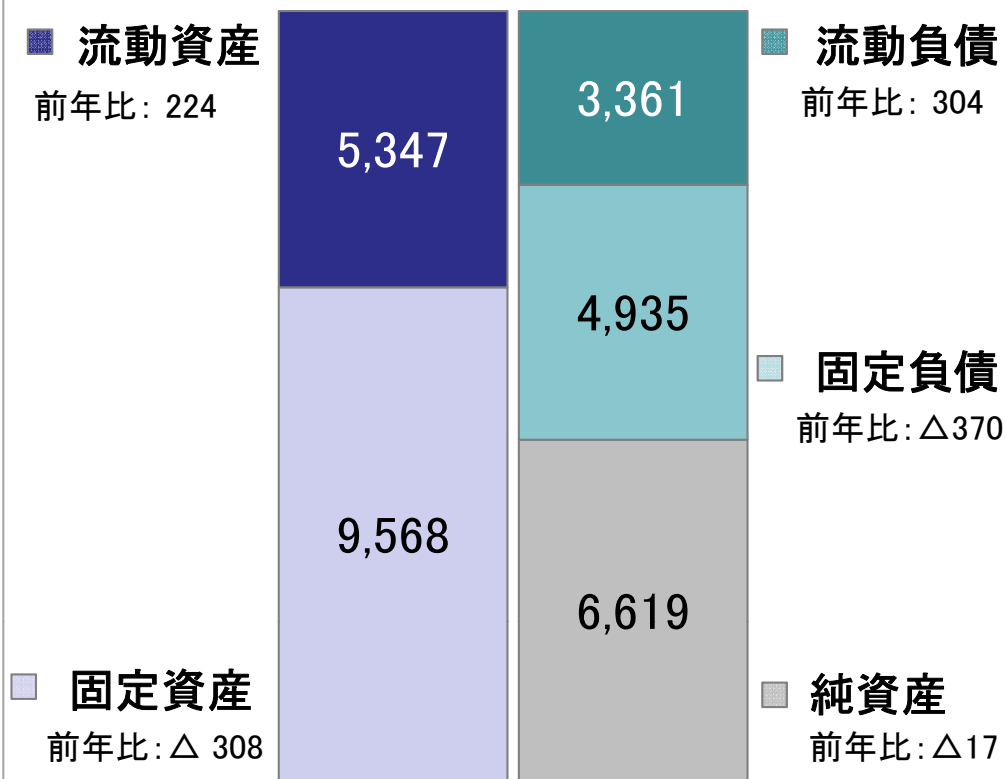
市場動向	<p>交通・輸送：自動車関連は地震・円高の影響もありながらも堅調</p> <p>機械設備：設備投資の検討は維持され、若干の改善傾向</p>
業績要旨	<p>◇小型プレス機の販売目標に届かず計画未達</p> <p>◇外部環境の影響により、量産アイテムの減少</p> <p>◇減収による減益</p>

連結貸借対照表とCFの状況

2017年2月期第2四半期末 連結貸借対照表とキャッシュ・フロー

連結貸借対照表

資産の部 負債の部 (単位:百万円)

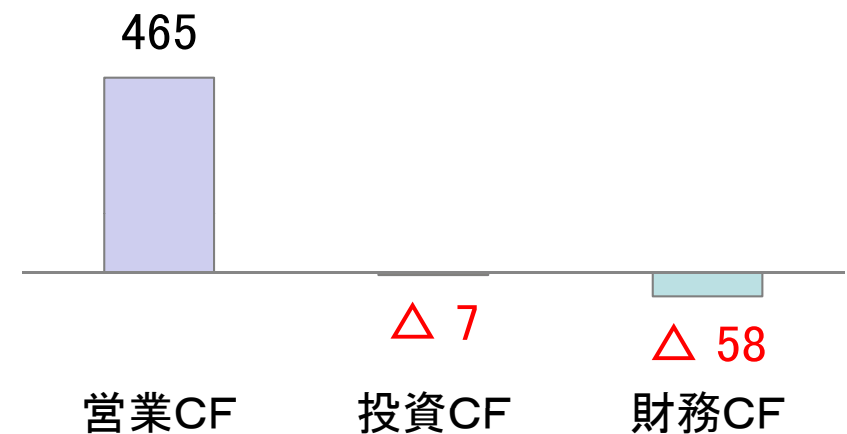


2017年2月期 第2四半期自己資本比率 : 44.4%
2016年2月期 自己資本比率 : 44.2%

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	16年2月期 2月末時点	17年2月期 第2Q実績
現金及び現金同等物	510	910



投資は状況を勘案しながら進捗中。研究開発は計画通り進捗

設備投資／減価償却費

	16年2月期 第2Q実績	17年2月期 第2Q実績	17年2月期 通期見通し
設備投資	1,015	144	1,136
減価償却費	946	445	894

17年2月期第2四半期 投資案件

- ◇生産能力の増強
- ◇管理システムの保守・改善

17年2月期通期 投資案件

- ◇セラミックハニカム押出用金型増産対応
- ◇ガスタービン向け自動溶接の導入
- ◇生産能力の増強

研究開発費

	16年2月期 第2Q実績	17年2月期 第2Q実績	17年2月期 通期見通し
研究開発費	386	176	396

17年2月期第2四半期 開発案件

- ◇航空機エンジン部品事業
圧縮機・燃焼器部品立上
- ◇電解加工生産性向上
- ◇完全クロムフリー塗料の機能性向上

17年2月期通期 今後の開発案件

- ◇CFRTP成形技術開発

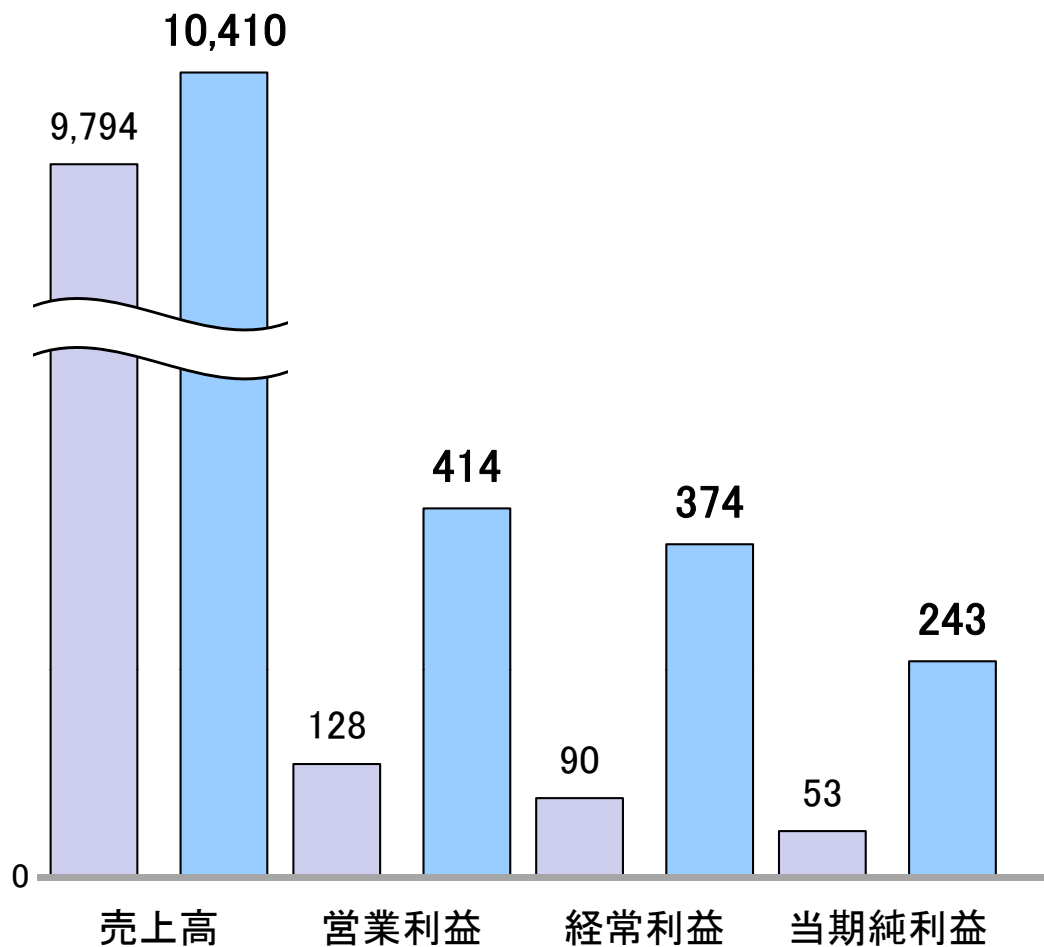
2017年2月期 通期見通し

2017年2月期通期見通し

2016年4月7日に公表した通期業績予想に変更はありません

(単位:百万円)

□ 16年2月期 実績 □ 17年2月期 見通し



	16年2月期 実績	17年2月期 見通し
売上高	9,794	10,410
売上原価	7,312	7,736
売上総利益	2,482	2,673
販管費	2,353	2,258
営業利益	128	414
営業外収益	28	38
営業外費用	65	79
経常利益	90	374
特別利益	103	20
特別損失	29	21
税金等調整前純利益	164	373
税金費用	111	130
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	243

2017年2月期通期見通し(セグメント)



セグメント別売上高・営業利益見通し

(単位:百万円)

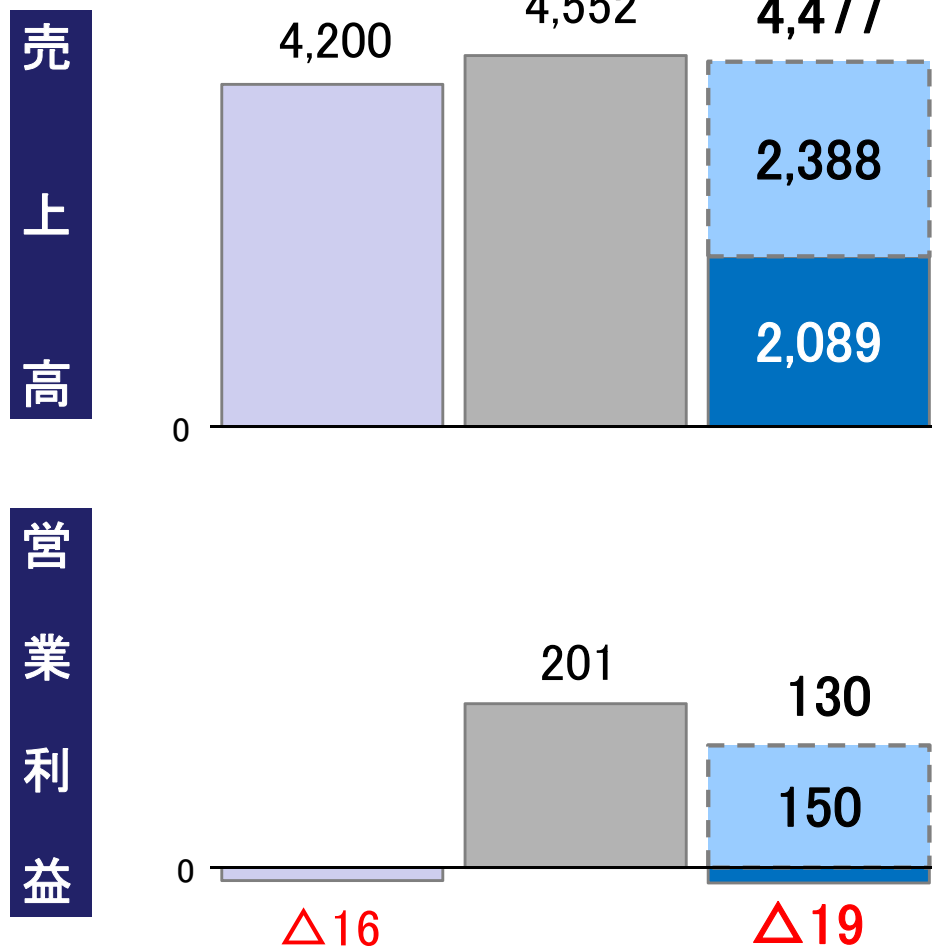
	売上高			営業利益		
	16年2月期 実績	計画 (16.04.07)	17年2月期 見通し	16年2月期 実績	計画 (16.04.07)	17年2月期 見通し
放電加工 表面処理	4,200	4,552	4,477	▲16	201	130
金 型	3,268	3,335	3,553	724	894	1,045
機械装置等	2,326	2,522	2,380	467	440	322
全社費用				▲1,047	▲1,121	▲ 1,083
合 計	9,794	10,410	10,410	128	414	414

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

放電加工・表面処理における見通し概要

2017年2月期 通期計画
 2017年2月期 下期見通し
 2016年2月期 実績
 2017年2月期 上期実績

(単位:百万円)



年度見通し

売上高: 4,552 ⇒ 4,477 (△ 75)
 営業利益: 201 ⇒ 130 (△ 71)

売上高予想

□航空機エンジン事業

低圧タービンブレード: 要求数量の減少見込み

圧縮機・燃焼器部品: 認証取得遅延で一部生産開始も
アイテム全体で未達

□原動機関連部品は堅調

営業利益予想

□圧縮機・燃焼器部品の生産開始による影響

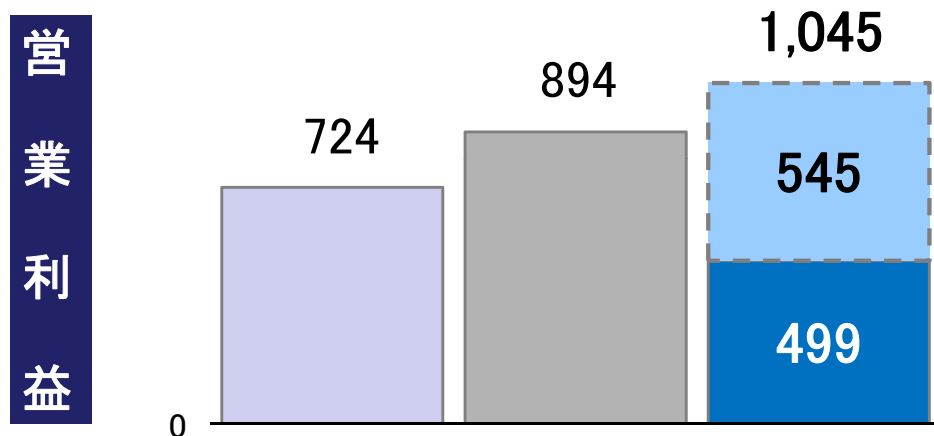
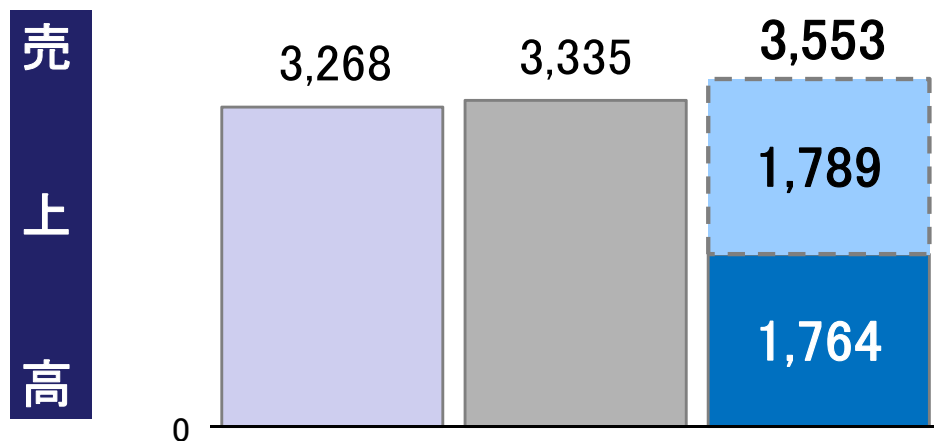
□生産性向上・経費削減も上期の挽回に至らず

セグメント別詳細：金型

金型における見通し概要



(単位:百万円)



年度見通し

売上高: 3,335 ⇒ 3,553 (+ 218)

営業利益: 894 ⇒ 1,045(+ 151)

売上高予想

- アルミ押出金型引き続き堅調に推移
- セラミックス押出金型も好調

営業利益予想

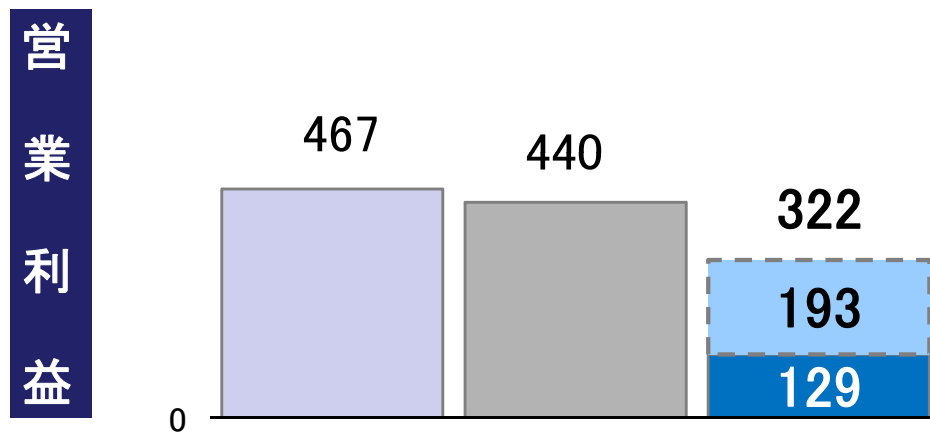
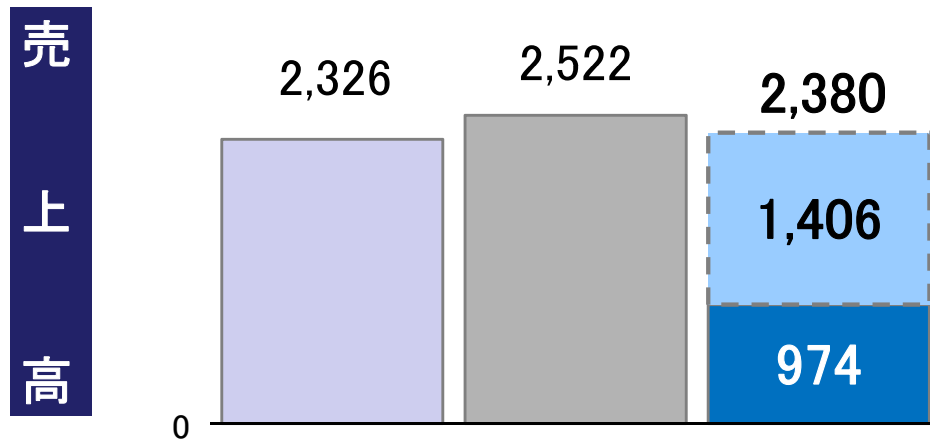
- 増収による増益
- 現場改善による収益性向上

セグメント別詳細：機械装置等

機械装置等における見通し概要

2017年2月期 通期計画
 2017年2月期 下期見通し
 2016年2月期 実績
 2017年2月期 上期実績

(単位:百万円)



年度見通し

売上高: 2,522 ⇒ 2,380 (△142)
 営業利益: 440 ⇒ 332 (△108)

売上高予想

- 仕様要件の確定に時間を要し、受注の遅れ
- 自動車部品の量産アイテムは回復の兆し

営業利益予想

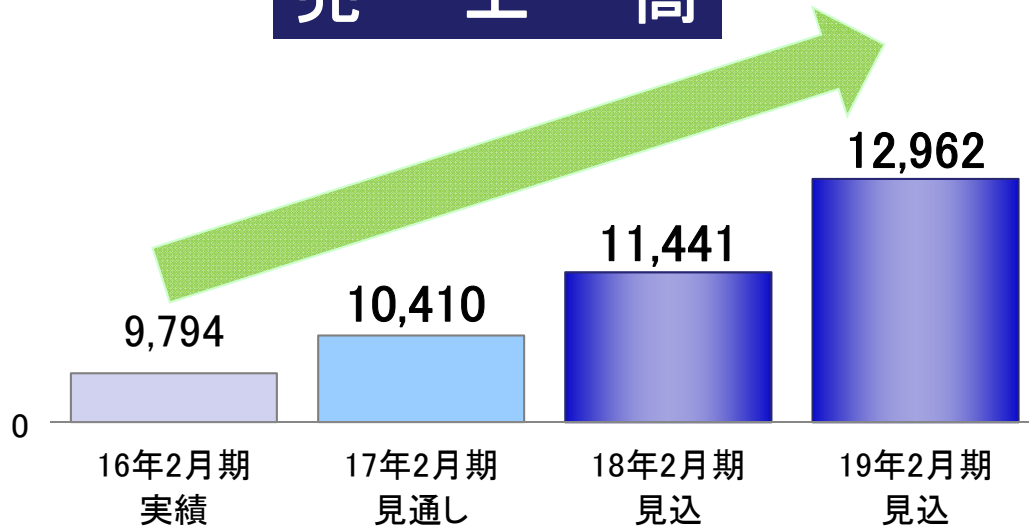
- 機械装置売上未達による影響
- 生産性向上・経費削減も上期の挽回に至らず

中期経営計画進捗

中期経営計画

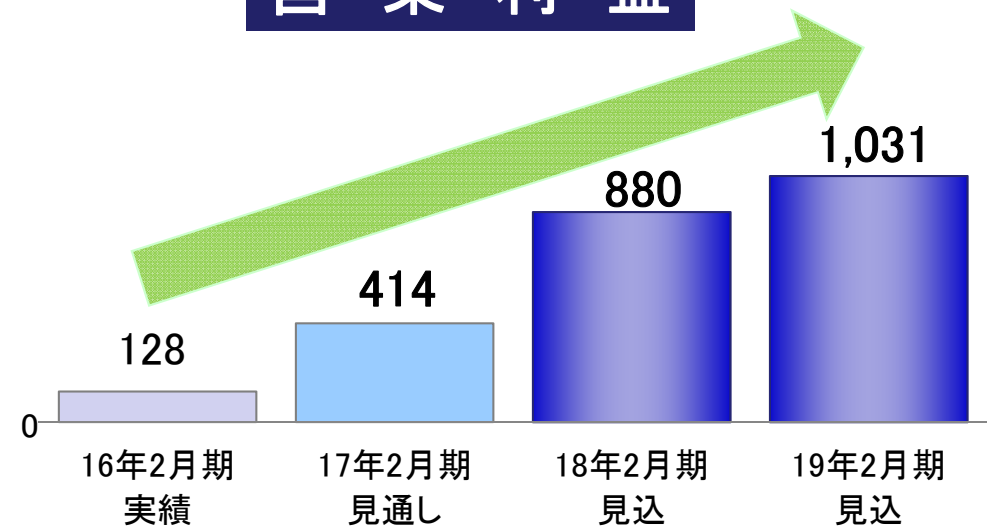
「新たな成長ステージへの挑戦」としての3年間

売上高



営業利益

(単位:百万円)



重要テーマ

① 既存事業をより強化

② 航空機エンジン部品事業の拡大

③ 新規事業・新規アイテムの開拓

中期経営計画進捗状況(①-1)

既存事業をより強化：強固な足場となる体制構築

テーマ	施策	展開分野 / 取り組み
売上拡大	◇一貫加工アイテムの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・中小型ガスタービンの部品 ・金型関連部品の銅押出工具
	◇新工法開発による顧客開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・遠心圧縮機関連部品
	◇他社との協業による新用途開発	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルム加工関連 ・高精度樹脂成形関連
	◇試し押出工程軽減金型の拡販	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ押出用金型
利益率向上	<ul style="list-style-type: none"> ①収益性の低いアイテムの見直し ②現場改善による収益力向上 ③外部購入比率の引き下げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場改善PJによる原価低減活動の推進

中期経営計画進捗状況(①-2)

既存事業をより強化:セラミックスハニカム押出用金型体制強化



中期経営計画進捗状況(②-1)

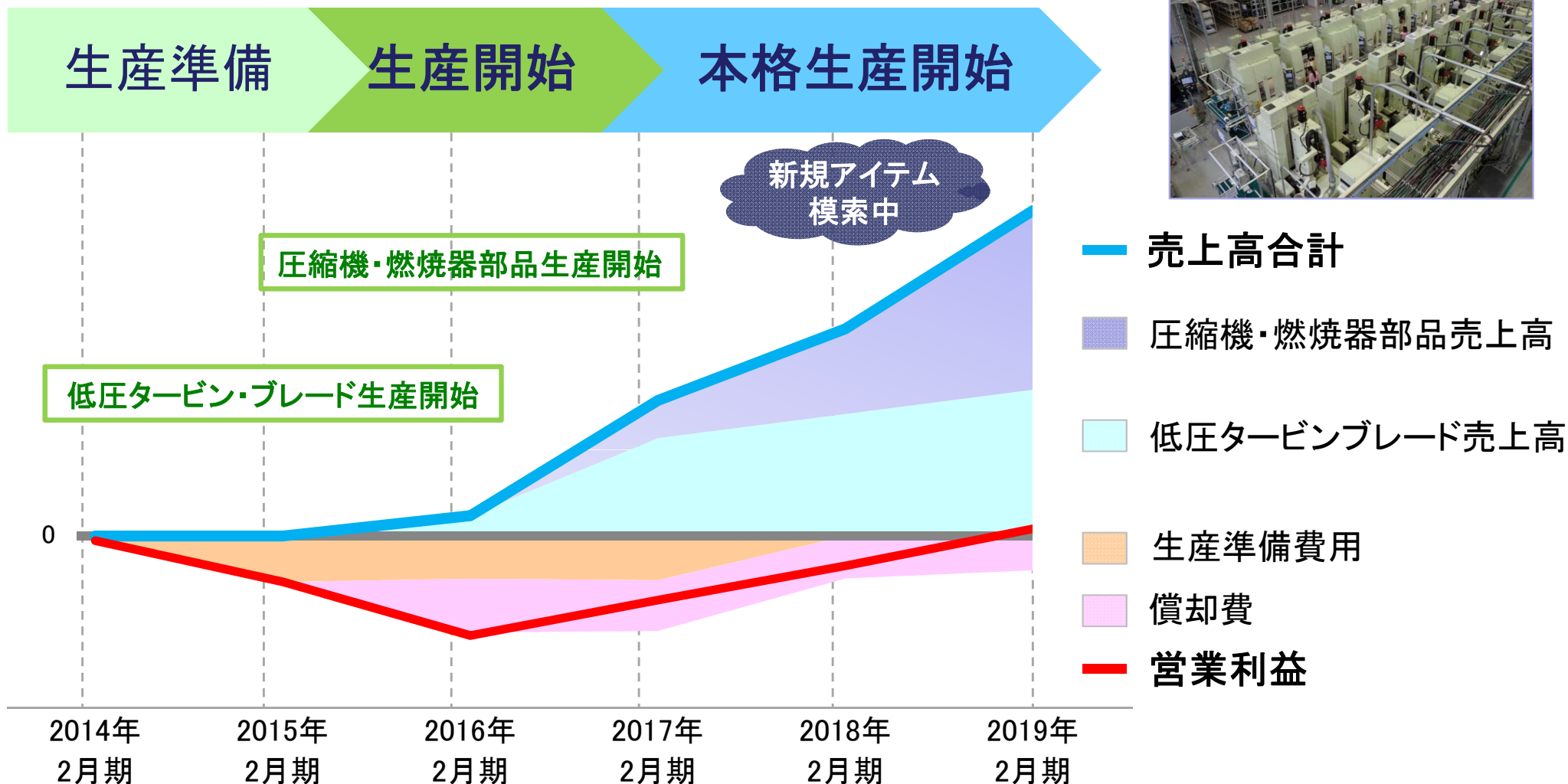
航空機エンジン部品事業の拡大:事業状況



中期経営計画進捗状況(②-2)

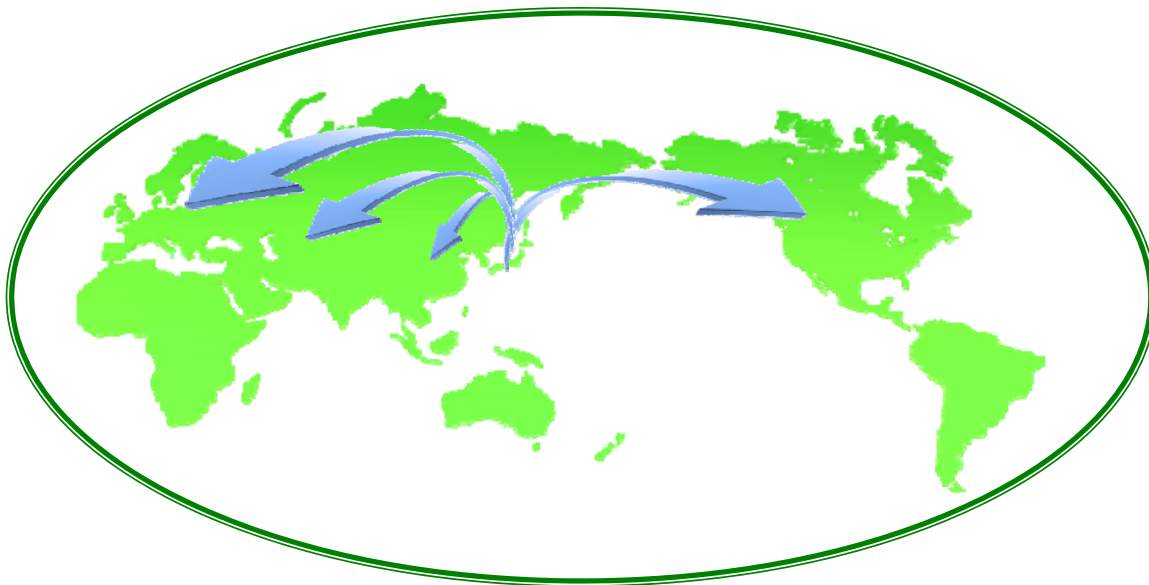
航空機エンジン部品事業の拡大: 収益イメージ

2つのアイテムは2019年2月期にまでに黒字化



中期経営計画進捗状況(③)

新規事業・新規アイテムの開拓～将来への種蒔き



大型ガスタービン部品
蒸気タービン部品
遠心圧縮機関連部品で
培った技術を
世界の原動機部品市場へ

ガスタービン部品の顧客海外グループ会社への直接供給

- 海外グループ会社と一部契約締結 ⇒ 現在、生産テスト開始
- 海外グループ企業が求める部品要求の調査・検討 ⇒ 各拠点での要望に技術検証

各種展示会参加により市場探求

- POWER-GEN ASIA2016 (2016/9/20～9/22 韓国開催) 発電設備・電力事業向け展示会
- エヌプラス2016(2016/9/28～9/30 国内開催) 高機能化・高付加価値化に特化した素材・技術専門展

独創技術でニーズにお応えする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。